

現状と課題(研究の動機、研究目的)

動機 ・温泉街が観光資源として弱い
・若い人の利用が少ない
・街に店が少ない

目的 ・山鹿の魅力を見出してもらう
・利用者数を増やす
・担い手といえればやはり若者！⇒若者に興味を持ってもらえるような店を見つける

現況と問題点

・文化振興 山鹿市文化協会や民俗芸能保存関係団体は各地区公民館や地域を拠点に文化芸術活動や伝承活動を行っている。
しかし、少子高齢化や生活環境の変化等により、いずれも構成団体や会員は減少の一途をたどり、各団体とも新規会員が増えないという課題を抱えている。
・八千代座の保存と活用 八千代座の平成の大修理から20年以上が経過し、全体的に修理の必要性が生じている。
将来的な大規模修理まで視野に入れ、保存活用計画を策定するとともに計画に基づいた維持補修を進める必要がある。
計画的な維持補修により良好に 建物を保つことで、今後も八千代座を本市の観光や文化施設の核として活用し地域の活性化を図ることが求められている。

仮説(課題解決のための提案)

伝統を受け継ぐ人が必要

研究手法

・他県の前例調べ
・桜湯の周辺のお店調査



研究内容・考察

〈他県の観光まちづくりの成功事例〉

兵庫県丹波篠山の取り組み

一般社団法人ノオトが、古民家の再生等により、魅力的な城下町の街並みを実現するとともに、限界集落や農村地域の再生に大きく貢献。

長崎県小値賀町の取り組み

小値賀島の遺された地域資源を生かす体験型観光「島暮らし・自然体験」を商品化。雇用を生み出す経済効果の実現に向け、個人客をターゲットとした「暮らすように旅をする」高付加価値の旅行商品の提供により、観光地域としてのブランド化を実現。

宮崎県日南市飫肥の取り組み

重要伝統的建造物群保存地区に指定された飫肥地区の歴史的な町並みを活かし、観光まちづくりを進めるため、官民連携のチームを構築。特に主要都市圏からのアクセスに課題を持つ地域の先進事例になるべく、古民家を改装し、宿泊施設として開業。

広島県尾道市の取り組み

npo法人尾道空き家再生プロジェクトが、江戸時代、北前船で栄華を極めた港町である尾道に存在する100軒ほどの空き家の再生にかかわり、地元雇用を生み出している。

他県の様々な事例を見て気づいたこと

・誰をターゲットにするかにより、戦略が変わってくる。
・それぞれの地域の特色を生かしたのになっている。

気づいたことから

山鹿(山鹿温泉)には地域の特色を生かした歴史ある町並みがある。その町並みを活かし、これからもっと盛り上げていくにはターゲット別にアピールの仕方を変えていくことが重要である。

〈桜湯周辺の店〉

木屋本店

麴専門店。味噌・甘酒等の発酵食品を数多く販売している。酒蔵・味噌蔵・米蔵から光専寺まで約1時間にわたり案内してくれる「米米惣門ツアー」も人気である。

山鹿灯籠民芸館

山鹿市の伝統工芸品「山鹿灯籠」の展示や制作実演。

せんべい工房

厳選された熊本県産のお米と、良質の天然塩にこだわった手作りのせんべい屋さん。希望者は、おせんべい作りの体験もできる。

美音珈カフェ

日替わりのランチメニューに加え手作りケーキやワッフル、ソフトクリームなどのスイーツメニューも充実している。

花さと

山鹿の温泉プラザ内に位置する食事処。定食や馬肉料理、焼きカレー、茶そばなど、さっぱりからこってりまで幅広いメニュー。

栄太郎

さくら湯からすぐ！家族でも楽しめる海の幸が自慢の和食処。

やまが門前美術館

福まゆ人形体験ができる。

結論ならびに今後の展望

山鹿は他県の前例を参考にするともっと発展すると思う。

また、山鹿は歴史ある町並みがあるのでそれを活かした若い層をターゲットにした路線を強化すると思う。

参考文献一覧

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kominkasupport/file/202003_02.pdf

歴史的資源を活用した観光まちづくり成功事例

<https://www.yukoyuko.net/onsen/0142/kanko>

山鹿周辺のすべての観光スポット

<https://yamaga-tanbou.jp/asobi/program/cocoon-doll/>

福まゆ人形づくり体験_山鹿探訪ナビ